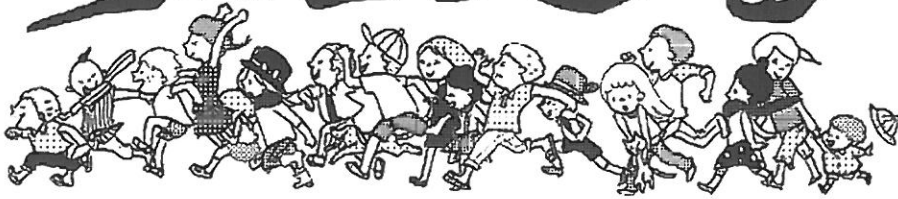


# 風光



## 生活保護の引き下げにNO!



9月17日、生活保護の基準額引き下げに対して、「これでは生活できない!」「もう我慢の限界!」と全国各地で多くの人々が「不服審査請求」を一斉に自治体に申し入れました。

全国で1万世帯以上、愛知県全体では、2500世帯をこえる請求があり、名古屋の受付会場にも、当事者・支援者を含め70人以上が詰めかけました。

**「人間らしい生活ができない!」**

申請に先立ち、愛知県県庁・名古屋市役所庁舎前で、宣伝行動を行いました。

東海地本の組合員も働いている「さくらんぼ作業所」からは9人の仲間が集まり「(作業所での)仕事を頑張っても、生活保護(の基準)を下げられたら、やる気もなくなる」「ヘルパーさんのお出かけも、旅行にもいけなくなる」「コンビニにもいけない。絶対に下げないで!」と発言し、削減撤回を訴えました。

また、ケアホームに入居し、生活保護を利用していらっしゃる方から「月14万円の収入でケアホームの利用料が9万円かかる、残り5万円で全て賄っている。今でも精一杯。これ以上切りの詰めるなんて、生きる希望も持てない」他にも「生活保護と言つと、朝から遊び呆けているような印象がねつ造されている」「知人が入院し、お見舞いしたら、自分分は米を買つ金も無くなる」といった切実な実態が多く話されました。

そして憲法25条が生かされる社会の実現を、多くの参加者・支援者で訴えました。

**生活保護はセーフティネット**  
 障害者・高齢者施設や保育所



会場を埋める不服審査を求める人々

利用者、家庭でも生活保護を受けている方がいます。生活保護の問題は私たち福祉労働者のすぐ近くにある問題です。

また、生活保護が社会保障等の基準にされるため、そこが引き下げれば、最低賃金、保育料や医療費、税制など、私たちの暮らしに大きな影響を及ぼします。

生活保護は憲法25条の具体化で、これが機能しないということとは、憲法25条そのものが守られない、「憲法違反」の社会とすることです。私たちみんなの問題です。今後とも支援の輪を広げていきましょう。

**「風の音」**

一人暮らしを始めて4年目、掃除、洗濯、食事といった家事が、ようやく要領よく回せるようになったなと感じる今日この頃。自立して一人で生活しようと決意して、家具を揃え、家電を揃え、調味料まで完璧に揃えたのに、実際に家に入れてみると、部屋は思ったより狭くなり、配色も微妙で、料理も基本的なものしか使わないのでした。そのうち机の上は書類と洗濯物でいっぱいになり、整理しようとおいても、いざ必要になり出すうと思っても、どこにしまったのか覚えておらず、何のために整理したんだか分からなくなる。自分が多々ありました。そのたびに「自分でなんて情けないんだ」と思い詰め大反省会。すぐに学習することもなく、そんなことを何度も繰り返して、前後しながら少しずつ改善されていったような気がしました。

短大時代には、勉強の時間が減れば、もっと一人暮らしを満喫できるのにな」と本末転倒の考え方をしたこともありました。

就職して二年目の今、まだまだ生活の課題はあって、夢に描いた理想の一人暮らしには及んでいません。しかし、短大時代に比べ圧倒的に忙しい今の方がスムーズに家事が回っています。

限られた時間を有効に使う。今やれば明日の自分が楽になる。と言いつつも、聞かせても、しんどくて、気持ちも奮い立たせません。頑張るところまでやっていきます。そうすると、前の日の自分にご満足している自分がいます。ちよつとずつ、楽しくなってきました。(無糖派)

# 「いまでしょ！宣伝」を皆の力で

福保労全国保育部会の提案で「公的な保育を守るのは？」「待機児を解消するのは？」「認可保育所をつくるのは？」という疑問に『いまでしょ！』と世間に訴える「いまでしょ！宣伝」が、10月から12月にかけて全国各地で行われています。

全国を4つの横断幕がリレーするこのとりくみに、東海地本では保育だけでなく、種別を超えて「福祉は権利」実現を掲げ



た「みんなの一步キャンペーン」の位置づけで宣伝を行うことにしました。10月27日の愛知県民集会を出発点とし、31日のあいされんの栄宣伝への連帯を最後に、5日間のリレー宣伝です。

スタートとなる愛知県民集会後の宣伝には、集会からパレード、そのままの流れで宣伝行動に取り組んだので、大勢の参加者でとてもにぎわいました。

「福祉・保育をよくするため」の署名に協力して下さい」と道行く人に声をかけ、ピラを配りました。宣伝をした栄周辺は、いつも多くの人が通るもの、

なかなか立ち止まってピラを受け取ってくれることも少ないのですが、集会&パレードで使ったハロウィンの衣装そのままに大勢で訴えかけるので、ふと足をとめてくれる人も多く、1時間弱の宣伝行動で、200筆を超える署名を集めることができました。

その後も金山・大曾根などに結果したり、愛知県下の各分会や三重のぐみの木、岐阜のかやの木などは地元で宣伝活動を行いました。

28日の金山での「福祉は権利」「民調を守ろう」のピラ配りでは、20代の女性が「どんな内容だろう？」「と首をかしげながらピラを手に取り立ち去った後で、「署名はどこでできますか？」と戻ってきてくださるということもありました。

歩きながら目を通してくださったようで、今の現状を知ってもらえたこと。身近に感じて署名をするために戻ってきてくださっ



たその行動がとても嬉しかったです。

街頭に立ち声をあげることで少しでも多くの方に、福祉が危うくなっていることとしている現状を知ってもらえることがわか

## 一步踏み出そう

「みんなの一步キャンペーン」とは、今年の福祉保育労中央定期大会で確認された運動で、今後3年をかけて「福祉は権利」を実現していくための私たちの計画です。リレー宣伝もこのとりくみの1つとして行ったものです。

私たちは「キャンペーン」の計画にそって、この秋闘期に「福祉は権利」ビジョンを使い「そもそも福祉とは？」「憲法25条の役割は？」「憲法改悪でどうなる？」という学習を全国の仲間と進めます。

憲法25条には「健康で文化的な最低限度の生活を営む」権利、つまり【生存権】があり、それを保障する社会保障・社会福祉は【国の社会的使命】だと明記されています。社会福祉は、国家の国民に対する義務なのです。

まずは私たちが自身が基本を学び、この運動に確信を持ちましよう。

り、また、その声に答えてくれる人がいることがわかり、この活動の意味を実感しました。

これからも福祉は権利を発信していきたいと思いました。

(天白福祉分会 中川詩野)

そして、学んだ中身を世間に広め、国を動かす「一步」となるのが「福祉は権利」実現署名です。

国は「社会保障改革国民会議」で出された提言のように、社会保障・社会福祉を「自立」を基本にした自己責任にすり替えようとしています。

「福祉は権利」実現署名では、社会保障・社会福祉は国の責任で充実させることや、各領域での基盤整備の促進、そして福祉の現場で働く者の処遇改善を求めています。

先日の東海地本のリレー宣伝では、5日間で100筆を超える署名を街頭で集めることができました。また、保育園の父母会からも「これなら私たちも手伝える」と協力の申し出がありました。やればやっただけ、しっかりと伝わっていくものがあります。

まずは一歩前へ出て、仲間と手を取り合い、運動を前進させていきましよう。

# 【シリーズ・名物組合員 特別版 新執行委員紹介】

今年の執行委員会は、なんと15人の新執行委員がいます。就職1年目からベテランまで、オブ参加をしてきていた人から出戻り(?)まで、バラエティ豊かなメンバーがそろいました。そのみなさんにアンケートを実施しました。

- ①執行委員になっての野望は?
- ②リラックスできるのはどんな時?
- ③マツコ・デラックスの出てる番組はどれが好き?

の3点です。これで、新執行委員みんなの本性が分かるかも?



## ほしざき分会 石橋栄子

- ①執行委員の具体的な活動内容がよくわからないので、今のところはありません。
- ②お風呂から上がって、フトンの上でストレッチしたり、ポーとテレビを見ている時。
- ③よく見るのは「ホンマデッカ?」

## みなと分会 大川真護

- ①前任者が志半ばに執行委員を降りることになりましたので、どこかで見守っているであろうその意志を継いでがんばりたいと思います。
- ②自宅に帰り、最近生まれた息子を膝の上で寝かせてるとき。
- ③一番はマツコの部屋ですね。るーるでおなじみのゲストとのトーク番組です。黒柳マツコさんのゲストいじり最高ですね。

## びわの実分会 大瀧麻友美

- ①いろいろな人と知り合う&まだまだ知らない組合のことなど学んでいきたいです。
- ②家で本を読んだり、音楽をきいているとき。
- ③「マツコの知らない世界」すごくおもしろいです。

## そよ風分会 加藤瑞菜

- ①とにかく勉強したいです。情勢や福祉労働者の働き方など自分の芯もしっかりしていないので、勉強して自分のものにしたいと思います。
- ②実家でゴロゴロしているとき、好きな音楽を聞いている時、好きなものを食べてるとき。
- ③マツコ有吉の怒り新党 だいすきです!

## どんぐり分会 桑田亜紀

- ①野望はないですね(笑)わからないことだらけなので何とかついていけるといいなと。
- ②たくさん寝てる時。
- ③マツコと有吉の怒り新党。

## けやきの木分会 土井美咲

- ①情勢をしっかり理解する!!
- ②1日が終わって布団に入るときです。
- ③怒り新党。

## くまのまえ分会 永井久美子

- ①みんなと仲良くやっていきたい。
- ②お風呂、寝る時。
- ③マツコ&有吉の怒り新党。

## 社会館分会 中上友梨花

- ①分会同士が深まる活動がしたい!!皆が楽しく、リフレッシュしながらも労働について考えたり、話したりできる企画を考えたいです。
- ②フトンに入った時zzz…。アウトドア(川あそび、身体を動かす)するとき。
- ③(なし)

## ゆたか支部 長沼恒男

- ①楽しい宴会がしたい。高齢者にもやさしい社会。福保労にしたい。
- ②家族といる時。
- ③有吉と出てる番組。

## 春日井福祉分会 中村英司

- ①多くの人に名前と顔を知ってもらおう。
- ②車の中で、ももクロのLIVEDVDを見ている時。
- ③見ていません。

## めいほく作業所分会 西田知也

- ①運動会がしたい。
- ②自然に囲まれた時。
- ③怒り新党。

## みよし分会 巾奈月

- ①分からないことだらけなので知っていくことから始めたいです。
- ②美味しいものを食べている時。
- ③「夜ふかし」です!

## ちよだ分会 林亜衣

- ①野望…みなさんの迷惑にならないようがんばります。分会に伝えることで、みんなで活動を広げたいです。
- ②コンビニとかで好きなものを選んでるときです。
- ③あまりわかりませんが、月曜からよふかし?

## 田代分会 兵藤望美

- ①組合での仲間を増やしたい。社会の中で自分の立場を理解する(労働も情勢も…)。
- ②テレビを見て笑ってる時。布団でゴロゴロしながら読書。
- ③怒り新党。月曜から夜更かし。

## 天白福祉分会 山本陽子

- ①初めてでわからないことだらけだと思いますが、まずはちゃんと執行委員になれるようがんばります!
- ②家でゴロゴロしている時や友だちとカフェでお茶しつつ女子トークしてる時♪
- ③有吉とのやつも矢部っちとのやつも好きです。番組名わからないけど。





## 原発事故から「経済」を考える

原発事故によって一人一人のくらしやそのための基盤が大規模に失われた。健康不安も増大した。住み慣れた場所、一緒に暮らしていた家族との別れ、放射能による健康被害の不安、外で遊びきれなくなったストレス等々、一人一人の生活全てに関わる物理的損失は全てあわせると、どのくらいになるのだろうか？ 途方もない額になるのではないかと私などにはとても推し測れないが：

福島第一原発にたくさんあるタンクから高濃度放射能汚染水が漏れ出すという大事故が起きた。これが地下にしみこみ地下水をも汚染しだしたという。今年2月2日に行つた福祉講演会で講演をしてくださった京都大学原子炉実験所助教の小出裕章先生は、「私は、地下水を放射能で汚染させないために原発の周囲の地下に防護壁をつくるべきだ！と主張してきた」「なのに全くやろうとしない！」と言つておられました。また原発事故の刑事責任を問う告訴団が、福島第一原発の汚染水問題の対応について東電の内

部文書を独自入手したという。

この文書は、事故の3ヵ月後につくられ、「原発地下に遮水壁を造るのが最も有効な対策としながら費用や着工時期を公表しない方針が記されていた」（中日新聞2013, 9, 10朝刊）という。早期から指摘する専門家もいたし、ましてや東電自身が有効だと分かつていたのに何故今までしなかつたのだろうか？

もう福島第一原発は負の遺産でしかないからだと思う。どんなにつき込んでも利益を生まないから。環境がどんどん汚染されよう。

ところで、「経済発展のためには原発は必要！」という意見がある。原発を巡って、片や途方もない「経済損失」があり、片や「経済発展」がある。一言で「経済」と言つてもどうも何か違いがあるように思えてきた。なんだろう？ と漠然と思つていたら、最近「女性自身」という週刊誌に「秘密保護法に潜むこわい未来」というタイトルが目についた。

ページをめくってみると「放射線量をママ友と調べただけで懲役!？」という見出しがあった。「なんでー？」と思わずうなづいてしまった。ま

だ法案の段階と言うが、この法律のねらいについて、内田

樹（わたる）さん（神戸女学院大名誉教授・思想家）という方が「金儲けの邪魔になるものを全て排除するための法案」と、同誌の中で指摘している。誰の金儲けのことか？ 「政権を支持しているグローバルリストたちは、民主制を抑制して一党独裁的な政治体制にして国家目標を経済成長に限定したいと考えています」と捉え、そうすれば「自分の個人資産が増える」と信じているのでしょ」と言っている。驚かされた。でも、「TPP

の進めかたも秘密保護法も発想の根は同じです」というところではなるほどな！と思えた。

同誌は、記事の冒頭に「この法案に無関心でいることは、自分たちの首を絞めることになりかねない。もつとと言うと私たちは、70年前の歴史を知る必要があるかもしれない」と問題を投げかけている。そうだよな！と思う。それにしても経済って難しい。まだまだ漠然としている。勉強していきたいと思う。

寄稿 すずかけ分会

榎谷好信

## 13 秋闘労働組合講座

実行委員会では、働く中で感じる矛盾やしんどさを出し合うところから深めました。「それぞれの悩みは、個々で抱えることとなく、国や自治体にもっと訴えないと！」「制度を変えていかないと、私たち働く者の権利が保障されなくて、それは目の前の子どもや利用者さんの人権が保障されないことにつながるよね。」など確認できました。

「福祉の仕事（保育も介護も障害も）の専門性って何だろう!?」社会福祉の観点から、「自分たちが今できること」を考えたいくなりました。「つくる闘いは楽しいぞ！私たちの発信はまだまだなのかも。」

「学ぼう！語ろう！伝えよう!!」をテーマに、労働講座の中で一緒に考えましょう。

### 【編集後記】

10月27日の県民集會に参加し、まづおどろいたのは、カラーがオレンジで、またハロウィンも近いということ。で仮装が素晴らしくよく目立っていたことと、熱い思いが込められた横断幕やうちわがあったことです。そんな驚きの中始まった集會では、様々な分野から制度改悪反対・これ以上悪くしないで！という切実な思いを聞き、「自分は保育だけの世界しかまだ知らなかった。自分よりも辛い悲しい思いをしている人はたくさんいるんだ。父母の方と運動を進

## 13 秋闘労働組合講座

日時 11月30日（土）  
13:00～受付  
13:30～16:30  
場所 保育コンソーシアム  
金山駅南口 ヤガミビル6F  
（「金山総合駅南」交差点辻スタバのあるビルです）

### 主な日程

11月30日～12月1日  
中央春闘討論集會  
1月10日 旗びらき  
1月18日～19日  
中央委員会  
1月25日 地本委員会  
（12月30日～1月3日  
事務所閉鎖期間）

め保育を守らなくては、がんばらな  
くちや！」と改めて強く感じました。  
また、「闘わなければ権利は得ら  
れない」という発言があり、まさに  
今が闘う時でここで闘わなければ幸  
福権も人権もなくなってしまうのだ！  
と気づかされました。集會終了後には  
栄の噴水前で園の職員と共に署名  
をとりました。

1人だとなかなか集まりませんが  
大勢だとたくさん集まり、署名の締  
め切りも近いですが今後も頑張つて  
集めていきますっ！！  
カナコ・テラックス